

令和7年度
徳島県教育課程研究集会

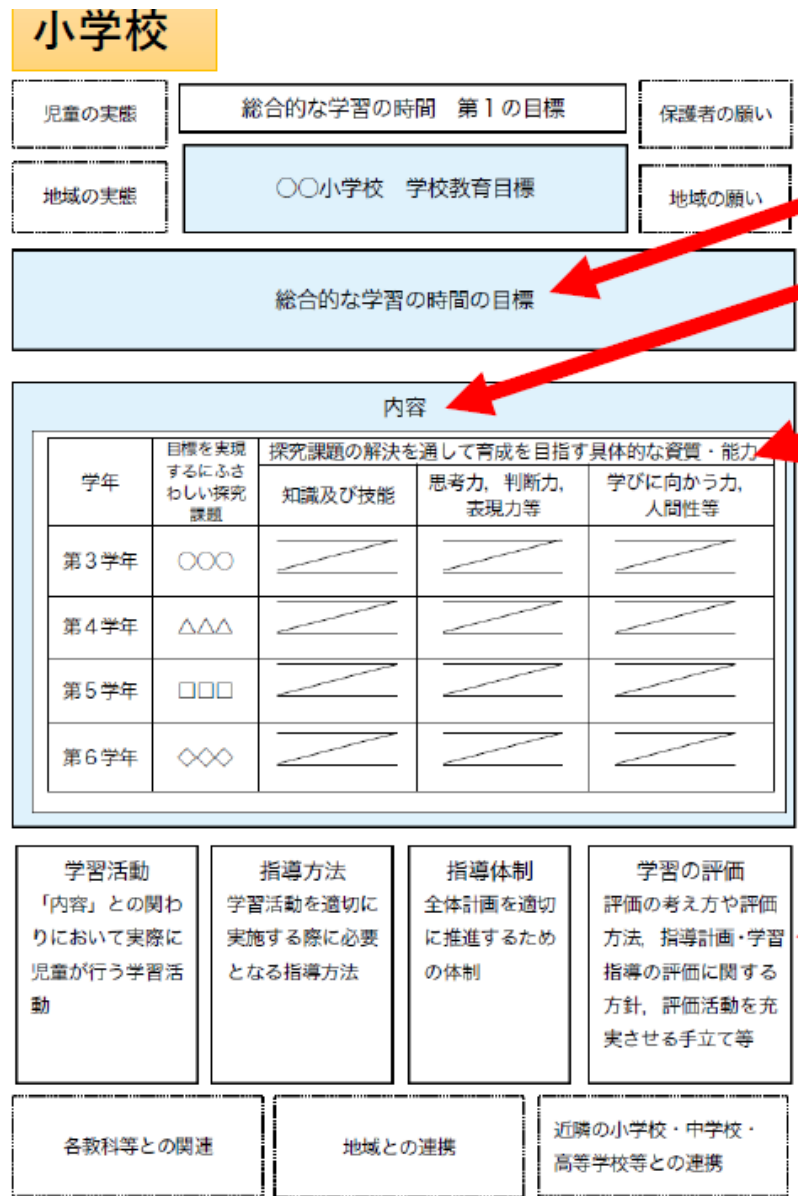
中 学 校
総合的な学習の時間

徳島県教育委員会
義務教育課 担当

質の高い探究的な学びとするために

- ・ 全体計画について**

総合的な学習の時間の全体計画の様式（例）



- 各学校で定める目標や内容は、以下の第2の3（1）・（4）・（6）を踏まえる
- (1) 各学校において定める目標については、各学校における教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間を通して育成を目指す資質・能力を示すこと。
 - (4) 各学校において定める内容については、目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を示すこと。
 - (6) 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力については、次の事項に配慮すること。
 - ア 知識及び技能については、他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにすること。
 - イ 思考力、判断力、表現力等については、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにすること。
 - ウ 学びに向かう力、人間性等については、自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえること。
- 資質・能力と学習活動と関係は、以下の第3の1（2）・（4）を踏まえる
- (2) 全体計画及び年間指導計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価の計画などを示すこと。
 - (4) 他教科等の目標及び内容との違いに留意しつつ、第1の目標並びに第2の各学校において定める目標及び内容を踏まえた適切な学習活動を行うこと。

学習指導要領を踏まえて、総合的な学習の時間の目標と内容を決定する

第1の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

1 目標

各学校においては、**第1の目標を踏まえ**、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。

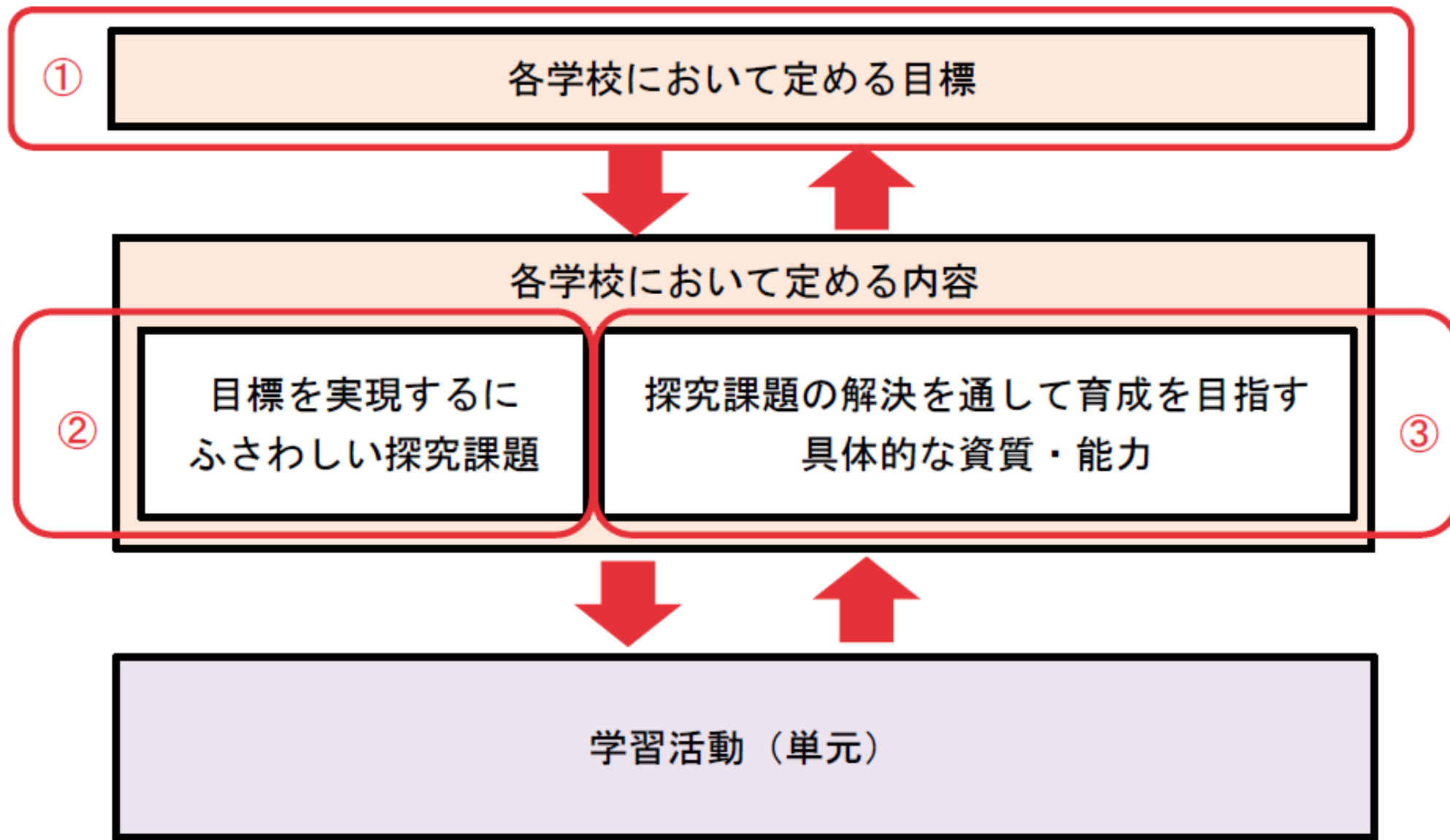
2 内容

各学校においては、**第1の目標を踏まえ**、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。

各学校で定める目標や内容は、以下の第2の3（1）・（4）・（6）を踏まえる

- (1) 各学校において定める**目標**については、**各学校における教育目標を踏まえ**、総合的な学習の時間を通して育成を目指す資質・能力を示すこと。
- (4) 各学校において定める**内容**については、**目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力**を示すこと。
- (6) 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力については、次の事項に配慮すること。
 - ア 知識及び技能については、他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、**社会の中で生きて働くもの**として形成されるようにすること。
 - イ 思考力、判断力、表現力等については、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの探究的な学習の過程において発揮され、**未知の状況において活用できるもの**として身に付けられるようにすること。
 - ウ 学びに向かう力、人間性等については、**自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえる**こと。

第1の目標、各学校の教育目標を基に、各学校の総合的な学習の時間の目標、内容、学習活動を定める



今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」（中学校編）

四つの課題	探究課題の例
横断的・総合的な課題 (現代的な諸課題)	地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観（国際理解）
	情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化（情報）
	地域の自然環境とそこに起きている環境問題（環境）
	身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々（福祉）
	毎日の健康な生活とストレスのある社会（健康）
	自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題（資源エネルギー）
	安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々（安全）
	食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者（食）
	科学技術の進歩と社会生活の変化（科学技術） など
地域や学校の特色に応じた課題	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織（町づくり）
	地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々（伝統文化）
	商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会（地域経済）
	防災のための安全な町づくりとその取組（防災） など
生徒の興味・関心に基づく課題	ものづくりの面白さや工夫と生活の発展（ものづくり）
	生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ（生命） など
職業や自己の将来に関する課題	職業の選択と社会への貢献（職業）
	働くことの意味や働く人の夢や願い（勤労） など

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」（中学校編）

「内容のまとめり」をもとに、単元全体を見通して、単元目標を作成する

内容のまとめり			
目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
身近な自然環境とそこに起きている環境問題	- 生物はその周辺の環境と関わって生きていることを理解する。 - 調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施することができる。 - 環境と生物とが共生していることの理解は、自然環境とそこに生息する生物との関係を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。	- 地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。 - 課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積することができる。 - 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えることができる。 - 相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。	- 課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとする。 - 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 - 地域との関わりの中で自分にできることを見付けようとする。

〔単元の目標〕

みどり川の自然環境に関わったり環境の保全に向けた取組を行ったりすることを通して、多様な生物が周辺の環境と関わって生きていることを理解し、持続可能な視点から自然環境の在り方について考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

単元の評価規準を作成する

探究課題	内容のまとまりごとの評価規準		
	評価の観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近な自然環境とそこに起きている環境問題	・生物はその周辺の環境と関わって生きていることを理解している。	・地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。	・課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。
	・調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施している。 ・環境と生物とが共生していることの理解は、自然環境とそこに生息する生物との関係を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	・課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。 ・課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。 ・相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。	・自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ・地域との関わりの中で自分ができることを見付けようとしている。

単元名	単元の評価規準		
	評価の観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
大好き みどり川	①みどり川の生物は、互いの特徴を生かし周りの環境と関わって生きていることを理解している。	①みどり川の環境の変化について、水質調査と踏査活動を結び付けて水質悪化の問題を見付け出し、課題を明らかにしている。	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。
	②みどり川にすむ生物の状況を捉えるために、生物種や生息環境に応じた方法でフィールドワークを実施している。	②みどり川の現状を捉えるために必要な情報について、手段を選択して多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりしている。	②環境保全に向けた探究的な活動体験を通して、自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。
	③みどり川の環境と自分たちの生活がつながっていることの理解は、川とそこに生息する生物との関係を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。 ④みどり川の環境の保全を訴えることについて、調査結果をグラフや地図、写真を使って効果的に表し、報告書にまとめている。	③環境保全のために自分でできることに取り組むことを通して、自分と身近な環境との関わりを見直そうとしている。

内容のまとまりごとの評価規準		
評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生物はその周辺の環境と関わって生きていることを理解している。	・地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。	・課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。



単元の評価規準		
評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①みどり川の生物は、互いの特徴を生かし周りの環境と関わって生きていることを理解している。	①みどり川の環境の変化について、水質調査と踏査活動を結び付けて水質悪化の問題を見付け出し、課題を明らかにしている。	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。

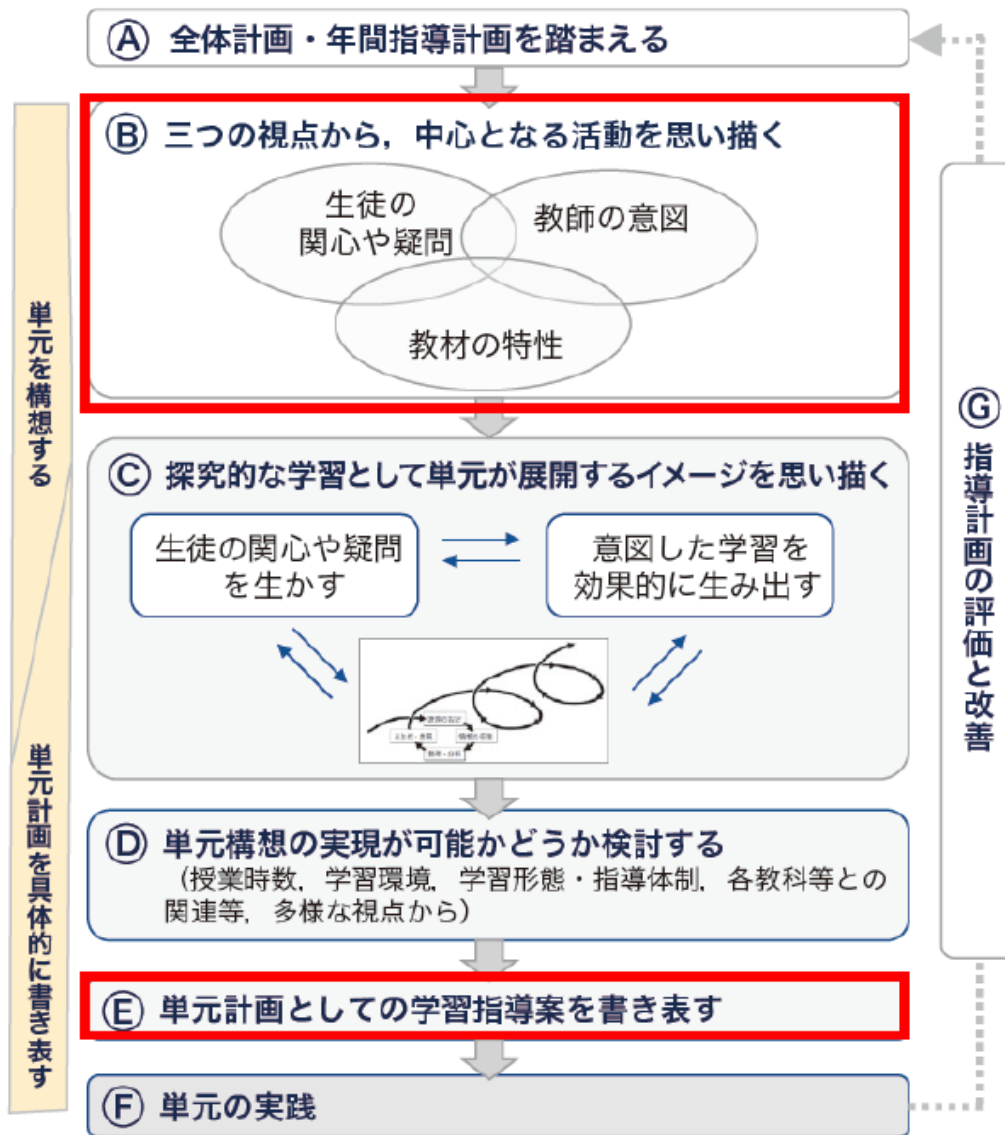
「内容のまとまりごと」の評価規準をもとに、具体的な学習活動から目指すべき学習状況としての児童の姿を想定し、単元の評価規準を作成する

総合的な学習の時間における 単元づくりと授業づくり

単元を構想する（今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編） P97～より加工）

単元とは、課題の解決や探究的な学習活動が発展的に繰り返される一連の学習活動のまとまりという意味である。単元計画の作成とは、教師が意図やねらいをもって、このまとまりを適切に生み出そうとする作業に他ならない。単元づくりは、教師の自律的で創造的な営みである。**学校として既に十分な実践経験が蓄積され、毎年実施する価値のある単元計画が存在する場合でも、改めて目の前の生徒の実態に即して、単元づくりを行う必要がある。**

単元計画の作成は、大きく次の二つに分けることができる。まずはじめに単元を構想する。次に単元の計画を具体的に書き表す。実際には、二つの作業を行きつ戻りつして望ましい単元計画を作成していくことが大切である。



①生徒の興味・関心

生徒にとって切実な、関心や疑問を出発点とすることで、生徒の主体的な活動が保障できる。

②教師の意図

教師の願いを出発点とすることで、探究課題を通してどのようなことを学ばせたいのか、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を明確にした単元構想が可能となる。

③教材の特性

教材（学習材）とは、生徒の学習を動機付け、方向付け、支える学習の素材のことである。教材の特性を出発点とすることで、どのような課題の解決や探究的な学習活動を行うことができるか、明確に見通すことができる。その際、横断的・総合的な学習になるように意識することが求められる。

図1 単元計画作成の手順チャート

三つの視線から児童・生徒の姿を思い描く

※以下、「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）」 P.103～を参考に事例作成

生徒の興味・関心

教師の意図

教材の特性

< 単元名 >

「未来の人も豊かな暮らしをするために

～エネルギー問題について考え、自然環境と共生を目指す～」 （第2学年50時間扱い）

< 単元の概要 >

現在の豊かな暮らしの背景にあるエネルギーの問題に向き合い、未来の世代にも豊かな暮らしを残すための取組として、自宅でできる節電や地域が一斉に消灯する活動などを実施し、エネルギーの問題に対する自己の考えを形成していく。

< 探究課題 >

エネルギー問題と、限りある資源を未来の世代に残すための取組（資源エネルギー）

三つの視線から児童・生徒の姿を思い描く

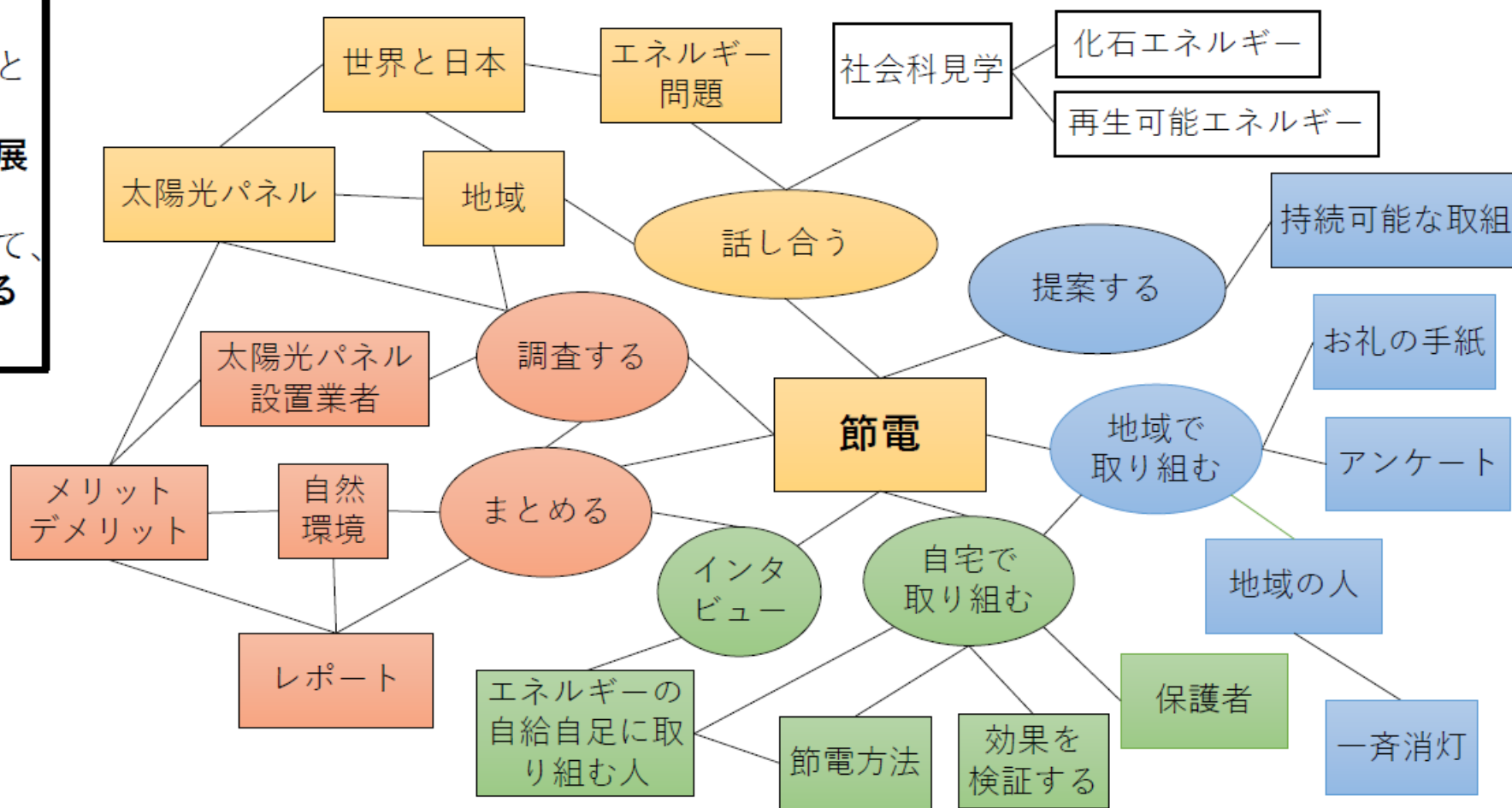
教材の特性

教材がふさわしいかをウェビングで確かめる

中心の教材を「節電」としたとき、教材としての広がりがあるか、どのような対象が考えられるか、どのような活動が考えられるかを予測する。

具体的で発展的な教材

- ①繰り返し働きかけることができる教材
- ②学習活動が広がり、発展していく教材
- ③実社会や実生活について、多面的・多角的に考えることができる教材



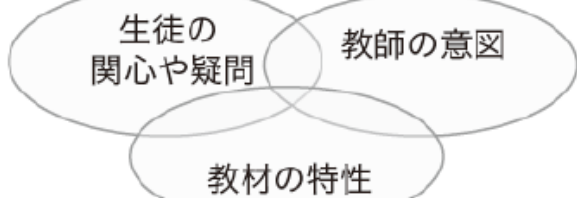
探究的な学習として単元が発展するイメージ

単元を構想する

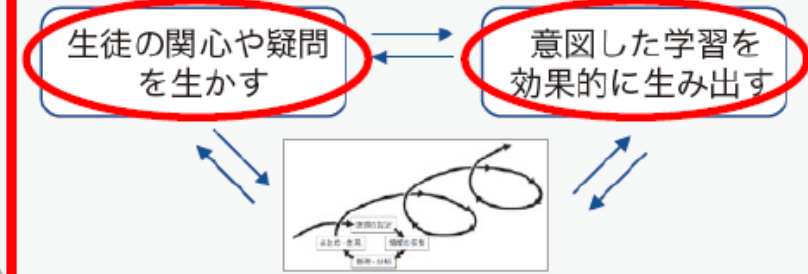
単元計画を具体的に書き表す

① 全体計画・年間指導計画を踏まえる

② 三つの視点から、中心となる活動を思い描く



③ 探究的な学習として単元が展開するイメージを思い描く



④ 単元構想の実現が可能かどうか検討する
(授業時数、学習環境、学習形態・指導体制、各教科等との関連等、多様な視点から)

⑤ 単元計画としての学習指導案を書き表す

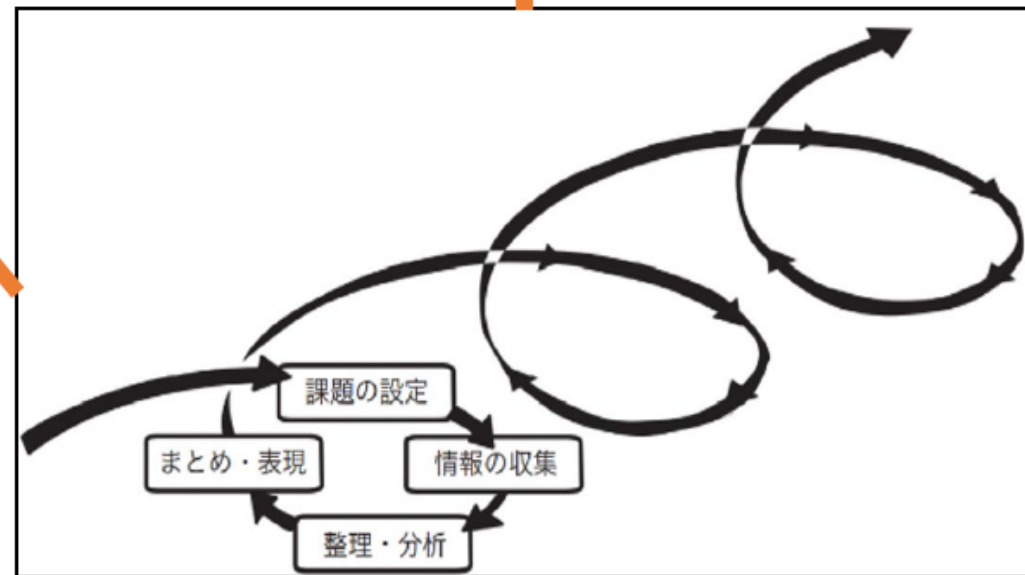
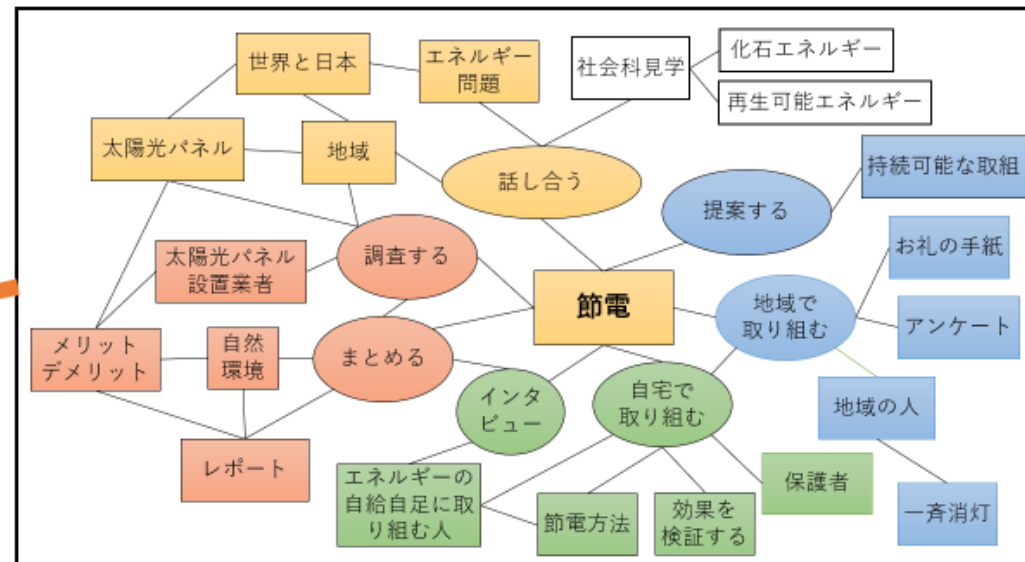
⑥ 単元の実践

① 広げる

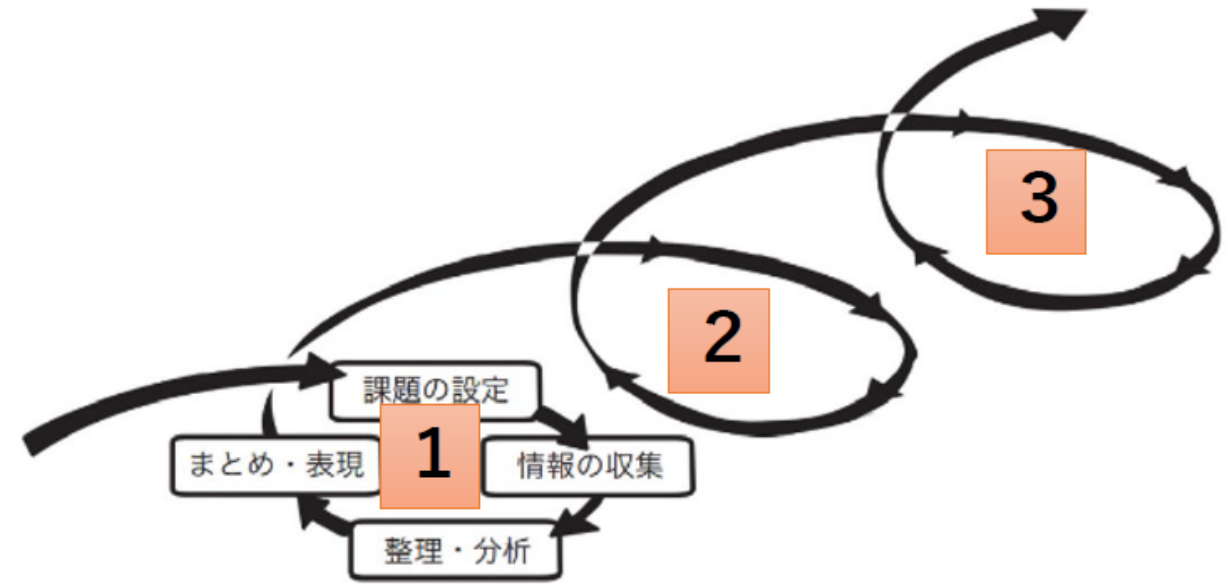
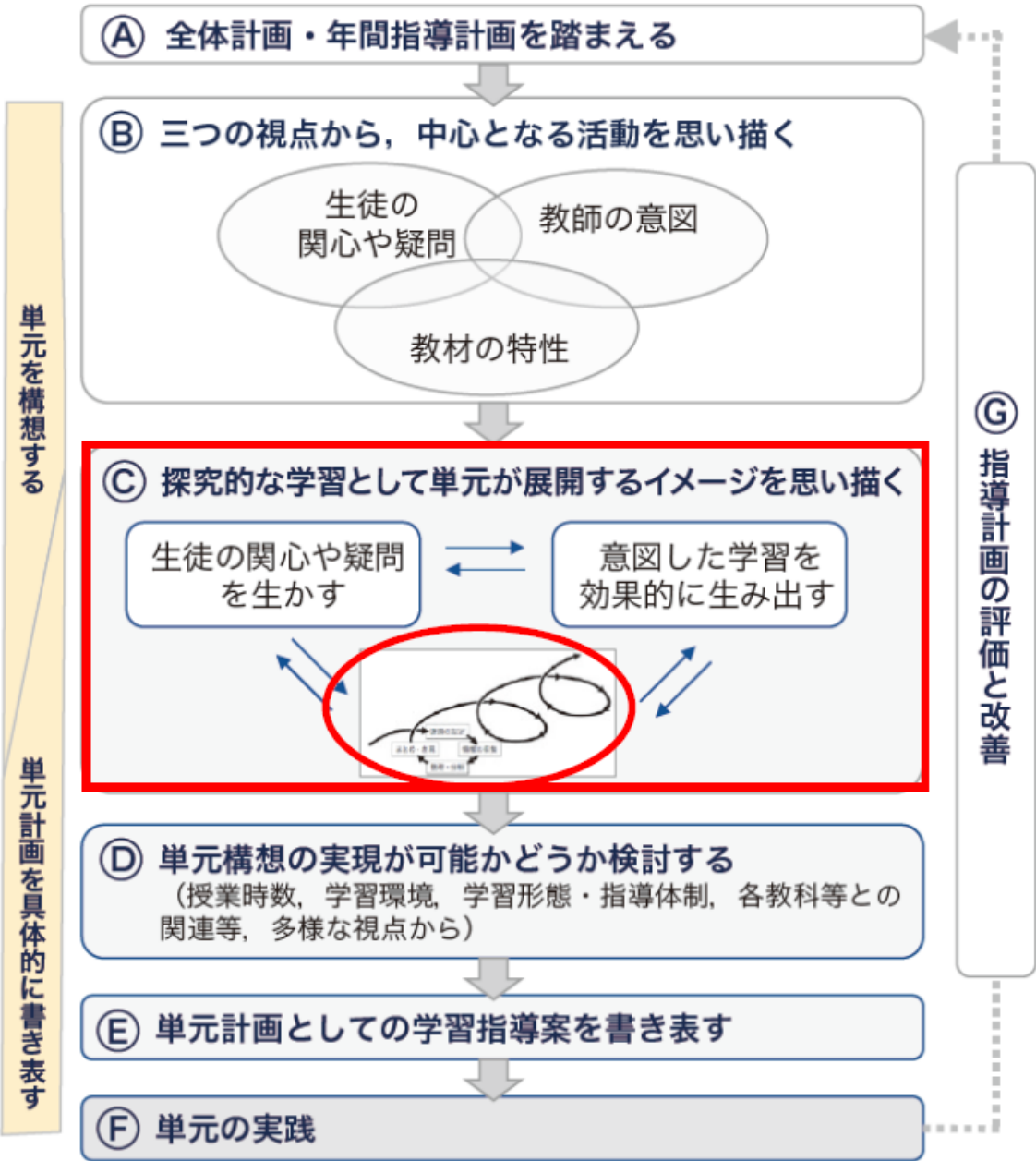
② 選ぶ

③ 並べる

④ 整える



探究的な学習として単元が発展するイメージ



③並べる

1	2	3
企画する	→ リハーサル	→ 実施する
体験する	→ 一緒に楽しむ	→ 開催する
染める	→ 使う	→ 展示する
取材・調査する	→ 撮影する	→ 発信する
つくる	→ 体験してもらう	→ 改良する
制作する	→ 販売する	→ 普及する

探究的な学習として単元が発展するイメージ

小単元2

自分たちも節電に取り組もう

【課題の設定】

太陽光発電だけでよいのだろうか。

- ① 小単元1で分かったことを基にして、新たな課題を設定する。
- ② 自分との関わりが深まる課題を設定する。

【情報の収集】

- ① 太陽光発電施設の見学、太陽光発電パネル設置業者へのインタビューをする。
- ② エネルギーの自給自足に取り組む人へインタビューする。
- ③ 保護者、地域の人々の節電に対する意識調査をする。

実践・提案

調査

疑問

課題の設定

情報の収集

まとめ

【まとめ・表現】

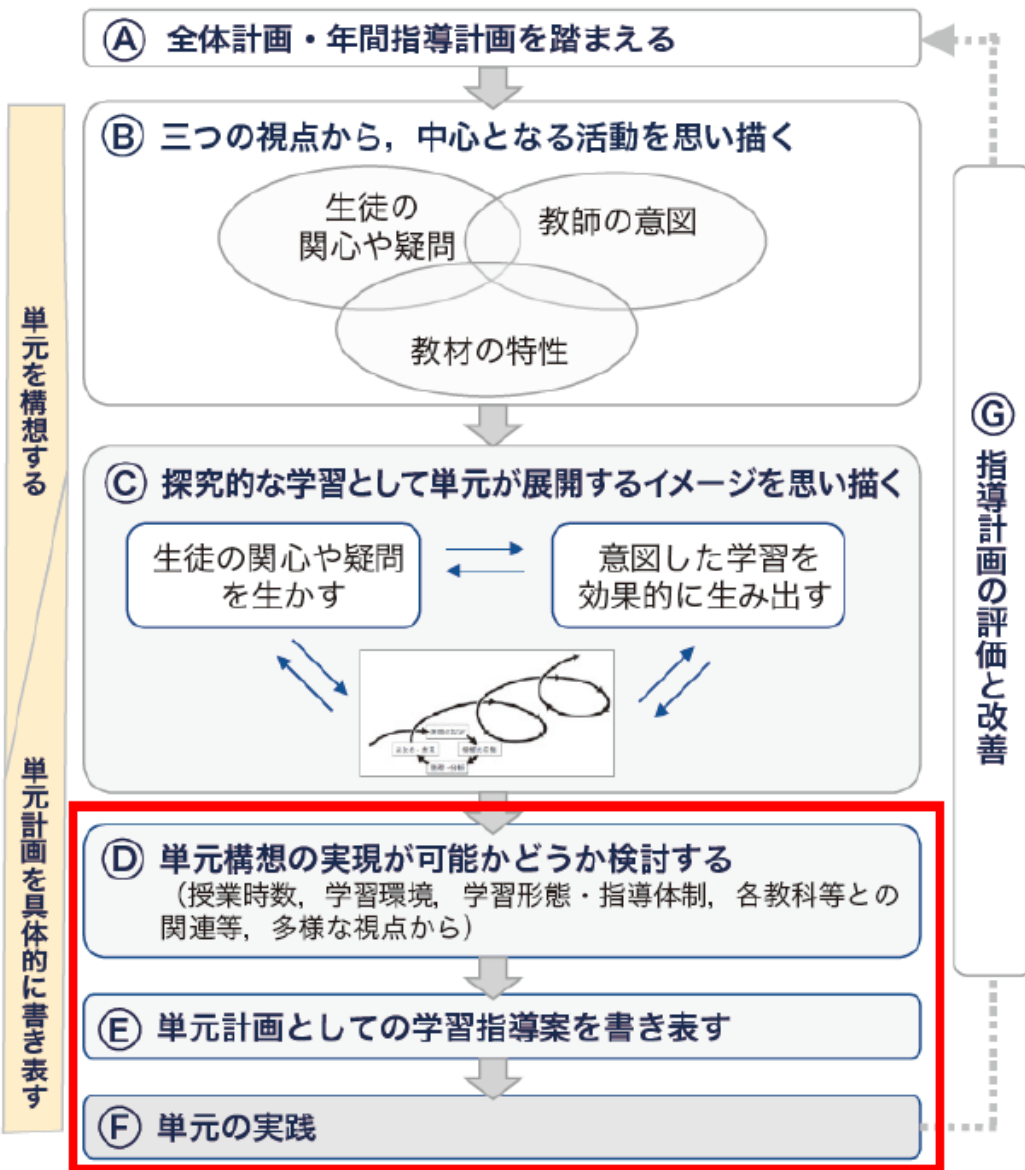
- ① エネルギーと自然の共生をテーマにしてレポートを書く。
- ② 自宅で節電に取り組む。

【整理・分析】

インタビューや意識調査の内容を整理する。

- ① 節電方法について整理する。
- ② 効果的な節電方法について考える。

単元計画を具体的に書き表す



D 単元構想の実現が可能かどうか検討する

まず、単元を構成する諸活動を考えた後に、各活動が児童の意識や活動の自然な流れに沿って展開できるかを検討する。流れに不自然さや無理がある場合には、順番を入れ替えたり、活動の間に別の活動を挟んだり省略したりすることで、単元構想を実現する可能性をより高めることができる。さらに、各活動の授業時数、学習環境、学習形態、指導体制、各教科等との関連等の多様な視点から、単元構想が実際に実現可能かどうかを吟味する。

E 単元計画としての学習指導案を書き出す

単元の計画を具体的に表現するには、以下のような構成要素が考えられる。

- 単元名
 - 単元目標
 - 児童の実態
 - 目標を実現するにふさわしい探究課題
 - 単元において育成を目指す資質・能力
 - 教材について
 - 指導計画・評価計画
- 教科横断的な視点で
教育目標を達成
- 学校研究課題との関連
 - 各教科等との関連
 - 単元の評価規準
 - など

F 単元の実践

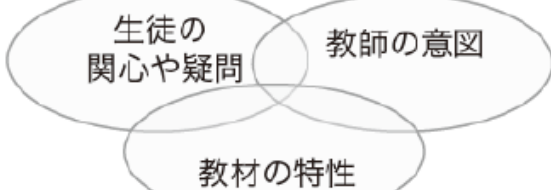
どれだけ丁寧に単元づくりを行っても、通りにはならない場合もある。生徒の学びを正しつつ学びを生みだそうとする、

内外の教育資源の
効果的活用

指導計画の評価と改善

① 全体計画・年間指導計画を踏まえる

② 三つの視点から、中心となる活動を思い描く



③ 探究的な学習として単元が展開するイメージを思い描く



④ 単元構想の実現が可能かどうか検討する

(授業時数、学習環境、学習形態・指導体制、各教科等との関連等、多様な視点から)

⑤ 単元計画としての学習指導案を書き表す

⑥ 単元の実践

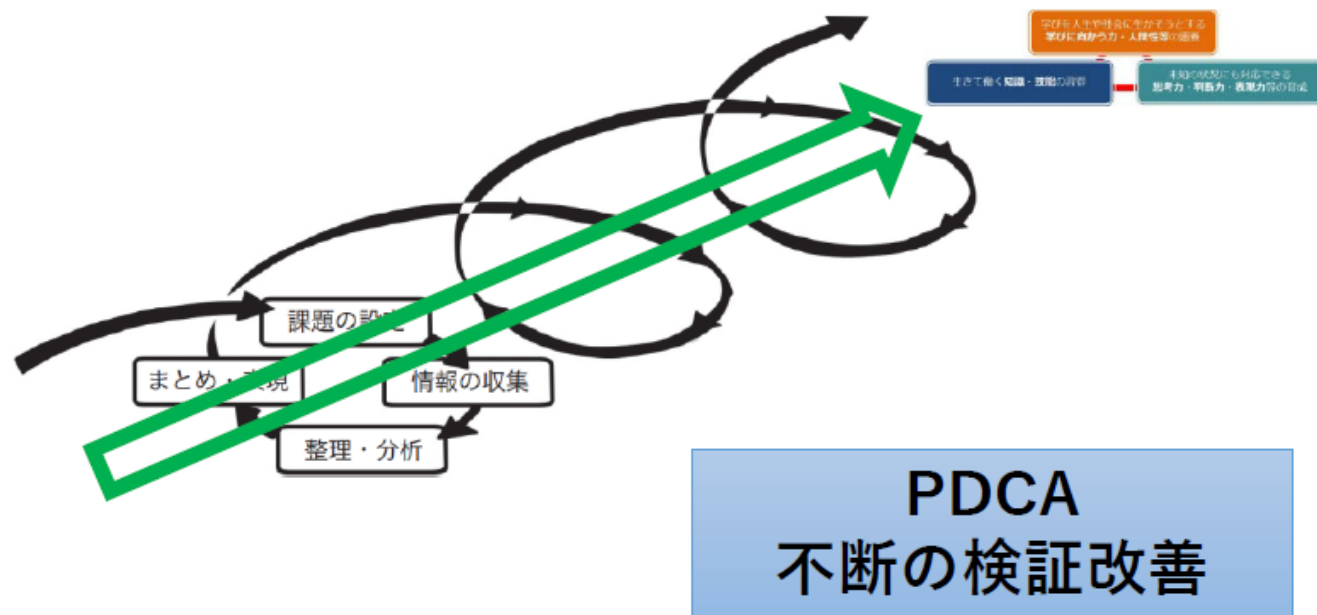
⑦ 指導計画の評価と改善

単元を構想する

単元計画を具体的に書き表す

単元目標

様々な発電方法を調査したり電力消費量を減らすための活動に取り組んだりすることを通して、自分たちの暮らしは環境に負荷を与えたり、限りある資源の消費の上で成り立っていることを理解するとともに、電力消費量を抑えるための実現可能な方法を探し求め、未来の豊かな暮らしを守るために行動できるようにする。



G指導計画の評価と改善

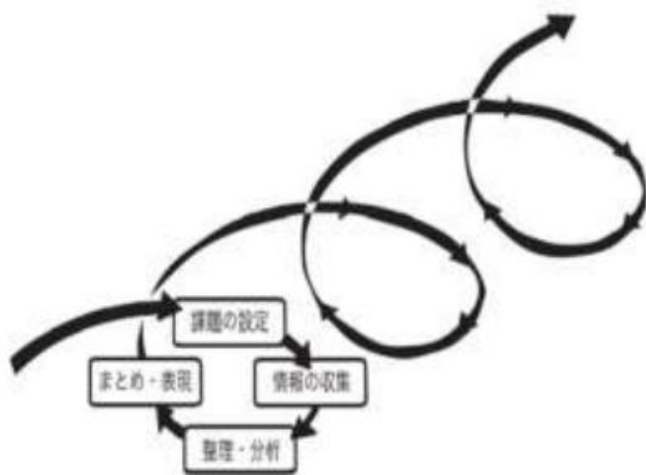
単元の実践を振り返り、単元計画を見直すとともに、次年度の全体計画や年間指導計画の改善に役立てる。

質の高い探究的な学びとするために

・ 探究的に学ぶ児童・生徒の姿

（解説p.9） 児童の豊かな学習の姿

- ・ 事象を捉える**感性や問題意識**が揺さぶられて、学習活動への取組が**真剣**になる。
- ・ 身に付けた知識及び技能を活用し、その**有用性を実感**する。
- ・ **見方が広がったことを喜び**、更なる学習への**意欲を高める**。
- ・ **概念**が具体性を増して理解が深まる。
- ・ 学んだことを自己と結び付けて、自分の成長を自覚したり**自己の生き方**を考えたりする。



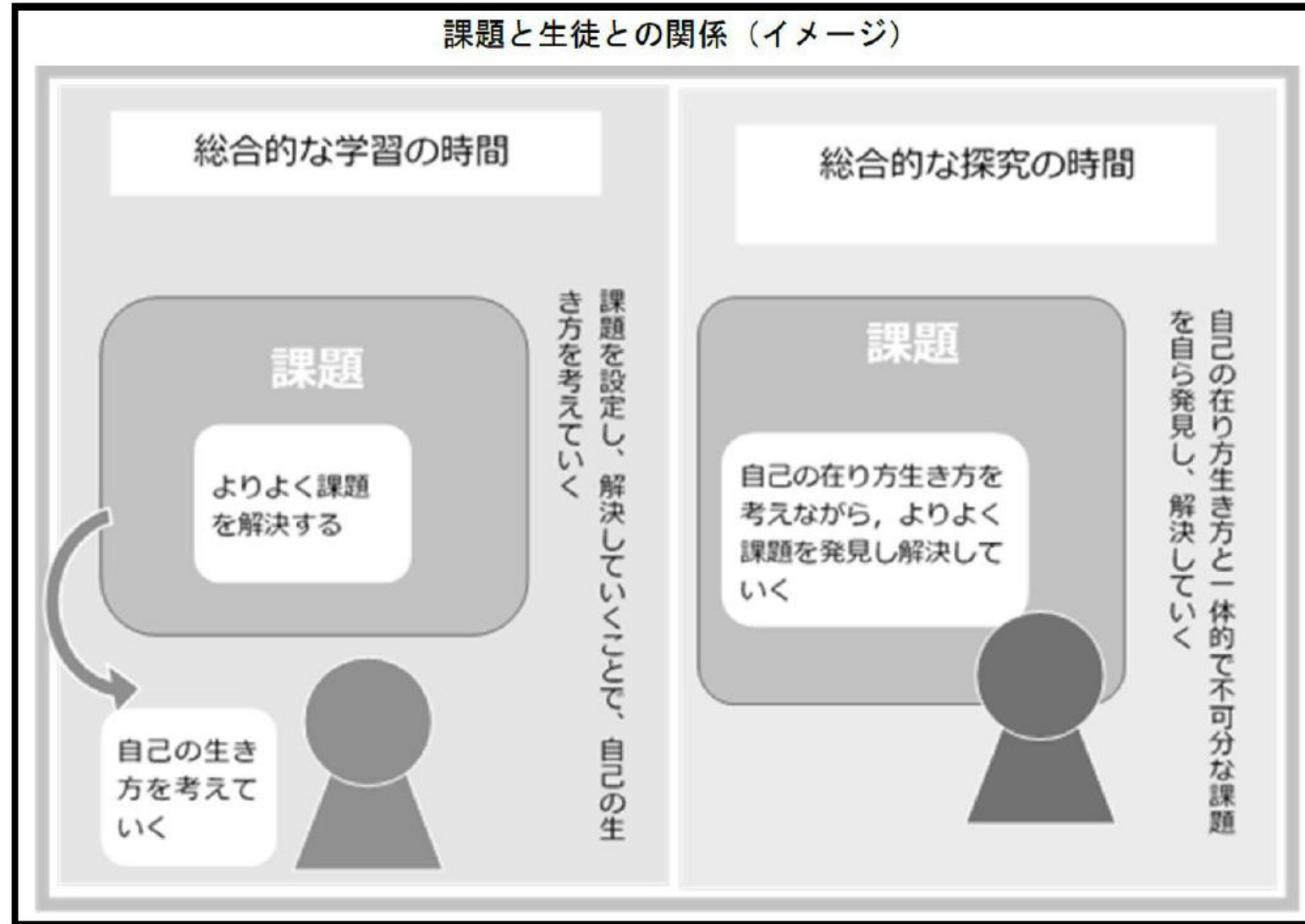
深い学びの実現

知識を相互に関連付けてより深く理解したり、
情報を精査して考えを形成したり、
問題を見いだして解決策を考えたり、
思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」を実現

どのような教師の指導性が考えられるのか？

- ①「深い学び」を参考に児童・生徒の学びの姿
- ②その学びの姿に近づけるようどのような指導ができるのか。

探究の高度化と自律的な探究



探究の高度化と自律的な探究

高度化した探究

- 【整合性】 探究において目的と方法が一貫している
- 【効果性】 探究において適切に資質・能力を活用している
- 【鋭角性】 焦点化し深く掘り下げて探究している
- 【広角性】 幅広い可能性を視野に入れながら探究している

自律的な探究

- 【自己課題】 自分にとって関わりが深い課題になる
- 【運用】 探究のプロセスを見通しつつ、自分の力で進められる
- 【社会参画】 得られた知見を生かして社会に参画しようとする